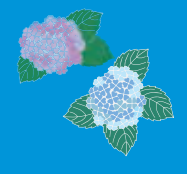


茨城町の夏

涸沼の畔は赤から青へのグラデーシオンが涼やか



涸沼の夕景



ひぬまあじさいまつり
6月17日(土)から7月17日(月)に開催



キャンプ(涸沼自然公園)

[写真提供:茨城町]

あじさいまつり、

釣り、キャンプで人気

ラムサール条約登録湿地・涸沼

平成27年、ラムサール条約登録湿地に指定された涸沼。豊かな沼にはさまざまな魚が生息し、年間を通して釣り人の姿がある。鳥にとっても楽園で、カモなどの水鳥も遊ぶ。また、絶滅危惧種のヒヌマイトトンボなど貴重な個体もいる。

涸沼が最も輝きを見せる季節が夏。湖岸には多くのキャンプ場があり、幅広い年代がアウトドアライフを満喫する。

涸沼自然公園はアジサイの名所として知られる。例年6月中旬から7月中旬にかけては「ひぬまあじさいまつり」が開催され、多くの観光客が訪れる。起伏に富んだ公園内には約1万株のアジサイが咲き誇り、今年7月2日(日)に、「ふれあいマーケット」が開催される。

涸沼は「夕景」が美しい場所としても人気がある。宮前公園など東岸から沼を眺めると、水面がオレンジ色に染まり、幻想的な気分を味わえる。また、広浦公園には水戸徳川家第9代藩主・徳川斉昭公が「水戸八景」に選定した「広浦秋月」があり、斉昭公が揮毫(きこう)した石碑がある。

茨城町夏のコース

夏のスポットは町の東側に位置する涸沼。親沢公園、涸沼自然公園、広浦公園にはキャンプ場がある。涸沼自然公園では例年6月中旬から7月中旬にかけて、あじさいまつりが開催され、多くの人でにぎわう。周辺には沼の恵みが楽しめる食堂や直売所も多い。

A 名勝広浦



涸沼観光の拠点。キャンプや水遊びが楽しめるほか、フィッシングポイントにもなっている。夕景の名所で、筑波山も見える。

B 親沢公園



松に囲まれた静かな湖畔で砂浜があり、休日は家族連れなどでにぎわう。園内には水戸徳川家2代藩主・徳川光圀公の句碑もある。

C 涸沼自然公園



自然の地形を生かした広大な公園。4月には幼児から児童まで遊べる複合遊具がリニューアルされた。「ひぬまあじさいまつり」では、約1.5kmの散策路を歩きながら、約30種のあじさいをじっくり見物したい。

D あんば祭り



毎年7月の最終土曜日に広浦公園で開催される大杉神社の例祭。幻想的な船山車や砂浜を舞台に、お囃子に合わせた踊りなどが奉納される。



茨城町マスコットキャラクター
「ひぬ丸くん」
茨城町の豊かな環境を愛する妖精。好物は茨城町で育ったメロン、イチゴ、栗、しじみ。茨城町の農産物の味は「〇」とPRしている。



茨城町の概要

茨城県のほぼ中央に位置し、県都・水戸市に隣接する。町の中央部を国道6号が貫き、北関東自動車道と東関東自動車道の結節点として、さらなる発展が期待されている。

名産名品



しじみ
「汽水湖」の涸沼ならではの名産品。夏の「土用しじみ」は身が太ってプリプリの食感が楽しめる大好評だ。

●お問い合わせ/茨城町商工観光課 ☎029(240)7124 ●企画・制作/読売茨城広告社 ☎029(244)5555

